

除雪機の試運転をする「保内郷除雪サポートチーム」のメンバー＝25日、長岡市城之丘



雪かき代行 本格始動

高齢者世帯などの除雪をボランティアで支援しようと、長岡市和島地域の住民グループが動き出している。25日には新たに導入した除雪機5台で、本格的に活動をスタートさせた。

グループは、保内郷と呼ばれる5地区の住民約50人でつくる「保内郷除雪サポートチーム」（関本靖子会長。自宅の除雪ができずにいる高齢者や障害者に代わり、玄関前の道つけなどをする。結成は昨冬で、今冬から県の「地域支え合い体制づくり事業」の補助金を活用し

和島・ボランティアグループ

除雪機そろえ 気合十分

てスノータンブや除雪機を購入、本格始動することにした。5地区内の34世帯が対象だ。

25日はメンバー約30人が、除雪機の使い方を業者から教わって試運転。初めて操作したという同市両高の小林芳一さん(66)は「じきに慣れそう。しっかりやって地元の人に応援してもらいたい」と張り切

る。今後大雪が予想される。関本会長は「地域の方が安心して生活できるようにフル活動したい。何よりも継続が大事」と話している。